

世界史 B 問題

はじめに、これを読むこと。

(注意事項)

1. この問題用紙は 14 ページまでである。ただし、ページ番号のない白紙はページ数に含まれない。
2. これは世界史 B の問題である。解答用紙が出願時に選択した科目であるかどうかを確認のうえ、解答すること。
3. 解答用紙の所定の欄に、必ず氏名を記入すること。
4. 解答用紙には受験番号が印刷されているので、受験番号が正しいかどうか、受験票と照合して確認すること。
5. 解答は、すべて「解答用紙」の解答欄に記入、またはマークすること。解答欄以外のところには何も記入しないこと。
6. 解答は、必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれも HB・黒)で記入すること。
7. 訂正する場合は、消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
8. 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
9. 文字は、一点一画まで正確に書くこと。
10. **解答用紙は、持ちかえらず、必ず提出すること。**
11. この問題用紙は、必ず持ちかえること。
12. 試験時間は 60 分である。
13. マークの記入例

良い例	悪い例
	  

〔 I 〕 次の文章を読み、空欄(ア～オ)に当てはまる語句を解答欄に記入しなさい。また、下線部(1～5)に関する設問(1～5)に答えなさい。

14～17世紀にヨーロッパは、ルネサンス、大航海時代、宗教改革と、激動の時代を経験した。なかでも宗教改革は、ルネサンスと異なり、既存の政治・教会・社会体制を真っ向から批判する原動力になったといえよう。

1517年にマルティン＝ルターが作成した は、印刷機の普及により瞬く間にドイツ全土に伝えられた。そのなかでルターは、ローマ教皇の裁量のもとに発行される贖宥状が、神聖ローマ帝国で盛んに販売されていたことに疑問を呈した。

このルターの批判に対し、パチカン⁽¹⁾は自説の撤回をもとめ、それを拒否したルターを1521年に破門する。さらにカール5世に召喚されたヴォルムスの帝国議会でも主張を変えなかったため、ルターは帝国追放を宣言された。しかしドイツの多くの都市の市民・諸侯がルターを支持し、なかでも はヴァルトブルク城でルターをかくまった。そこで1522年、ルターがドイツ語版新約聖書を完成させたことにより、民衆も聖書の内容を理解できるようになる。またルターの教会批判は修道院制度に対しても向けられ、実際彼が、1525年に修道女カタリーナ・フォン・ボラと結婚したことは、たちまち論争を引き起こした。ただしルターは、貧民の側に立ち農奴制の廃止により社会を変革しようとしたトーマス・ミュンツァー率いるドイツ農民戦争に対しては、徹底的に弾圧するよう呼びかけている。

このルターの改革運動に対し、カトリック側は対抗宗教改革を行った。具体的には、教皇の至上権が再確認され、腐敗の防止が図られ、禁書目録の作成のもと宗教裁判所の強化による思想統制が行われた。また1534年には という修道会が設立され、ヨーロッパばかりか海外での積極的な布教活動により、カトリック教会の勢力回復が図られた。こうして、南ヨーロッパでのプロテスタン⁽³⁾トの広がりには阻まれ、南ドイツの多くの地域も新教徒から奪回された。1555年の では、領主にカトリックかルター派かを選択する権利が与えられ、領民個人はそれぞれの領主の宗派に従うという原則が確立した。その際容認され

なかったカルヴァン派は、ドイツ以外のヨーロッパ各地で勢力を拡大した。

⁽⁴⁾新旧両派の対立は、ヨーロッパ各地で宗教戦争を引き起こした。またこの対立⁽⁵⁾の激化により、計画的・組織的な が行われ、新旧両派による宗教裁判所への密告、告発、拷問、自白、火あぶりなどが繰り返された。 の犠牲者は10万人以上にのぼり、その大半は女性であったといわれる。

この宗教改革から500周年を迎えた今日、2016年には史上初めてローマ教皇が、ルター派信者が大半を占めるスウェーデンでの宗教改革記念式典に参加した。ローマ・カトリック教会とルター派教会の間では、過去の対立の誤りを認めつつ、キリスト教の他宗派および他宗教に歩み寄りながら、平和な社会づくりに向けて協力し合うことが確認された。

設問 1 下線部(1)に関する説明として正しいものをひとつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A. ローマ教皇庁の「アテネの学堂」は、ミケランジェロの作品である。
- B. メディチ家の保護のもと、ボッティチェリは「ヴィーナスの誕生」を制作した。
- C. システイナ礼拝堂にある「最後の審判」は、レオナルド＝ダ＝ヴィンチの作品である。
- D. ファン＝アイク兄弟、デューラー、ブリューゲルは、フランドルの画家である。

設問 2 下線部(2)に関する説明として正しいものをひとつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A. 贖宥状は、メディチ家出身の教皇レオ 10 世により、サンタ=マリア大聖堂の建築費の調達を目的に販売された。
- B. ルターは、善行により罪が償われ、魂が救われると説いた。
- C. ドイツが「ローマの牝牛」と言われたのは、教皇による政治的干渉や財政上の搾取を受けやすかったことによる。
- D. ルターの先駆者であるハンガリー帝国のヤン・フスは、コンスタンツ公会議で喚問され、焚刑に処せられた。

設問 3 下線部(3)に関する説明として正しいものをひとつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A. 1517 年にルターは自らをプロテスタントと名乗り、ルター派を形成していった。
- B. プロテスタントの語源は、トリエント公会議の決定にルター派が抗議文を提出したことにある。
- C. 『一般祈禱書』制定後に即位した女王メアリ 1 世は、プロテスタントを弾圧した。
- D. プロテスタント諸宗派の主張は、福音主義、長老制度、万人祭司主義という点で共通していた。

設問 4 下線部(4)に関する説明として正しいものをひとつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A. ルター派と同様、領主への服従を説いた。
- B. イギリスではピューリタン、ネーデルラントではプレスビテリアンと呼ばれた。
- C. フランスのカルヴァン派は、ナントの王令により追放された。
- D. 資本主義の発展に寄与したといわれる蓄財の承認、禁欲、労働を重んじる職業倫理を説いた。

設問 5 下線部(5)に関して、下記の①～④の戦争が始まった年を左から右に年代順に並べたものをひとつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

①オランダ独立戦争

②三十年戦争

③ユグノー戦争

④シュマルカルデン戦争

A. ③—④—②—①

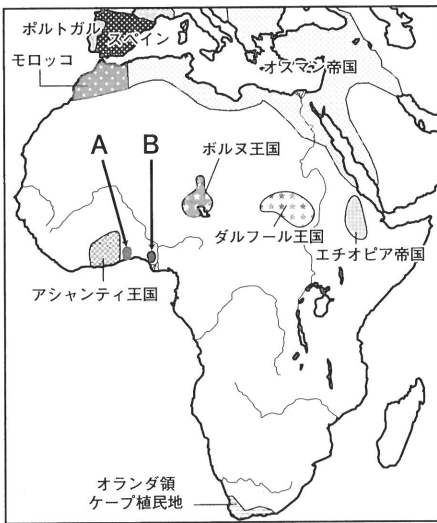
B. ④—③—①—②

C. ③—④—①—②

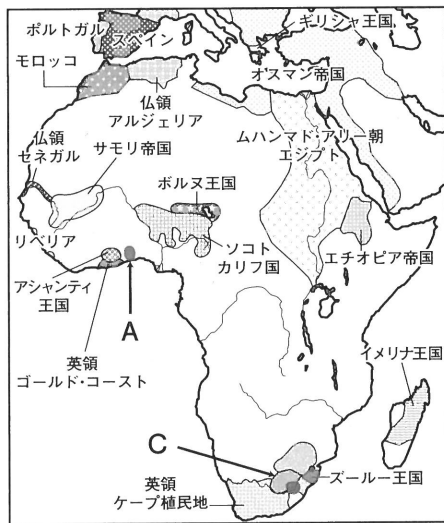
D. ④—③—②—①

〔Ⅱ〕 以下の地図(1～4)は異なる4つの時代のアフリカ大陸と、そこに存在したいくつかの国々の領域を示している。また、4つの地図はそれぞれ、史料(ア～キ)のいずれかひとつが書かれた時代と対応している。なお、地図はすべての国を網羅しているわけではなく、地図上には示されていない国々も存在していた。このことをふまえて、設問(1～2)に答えなさい。

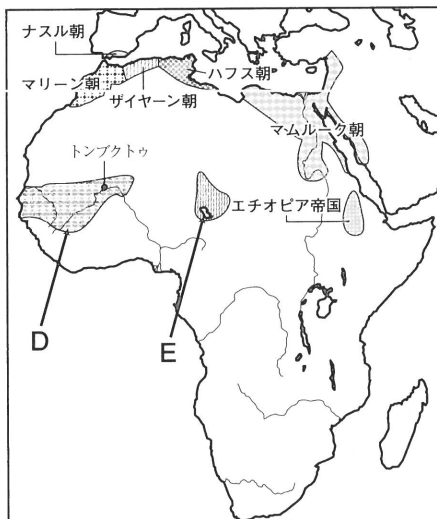
地図 1



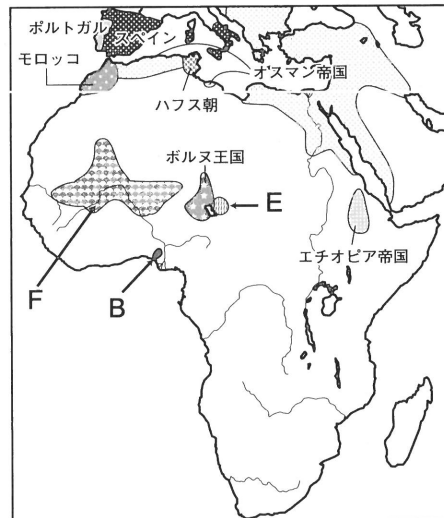
地図 2



地図 3



地図 4



設問 1 地図の空欄(A～F)に当てはまる国名を選択肢(1～10)から選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

【選択肢】

- | | | |
|----------------|-------------|----------|
| 1. アクスム王国 | 2. オレンジ自由国 | 3. ガーナ王国 |
| 4. カネム王国 | 5. ソンガイ王国 | 6. ダホメ王国 |
| 7. トランスヴァール共和国 | | 8. ベニン王国 |
| 9. マリ王国 | 10. モノモタパ王国 | |

設問 2 地図(1～4)の時代に対応する史料(ア～キ)を選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

ア. 私としては恋する女性の皆さまを助け、^{なぐさ}慰めてさしあげたい。(中略)
そのために私は百のお話をいたすつもりでございます。その中には作話や寓話^{ぐうわ}も愚話^{くぼなし}も実話もございますが、それらは七人のうら若き淑女と三人の青年紳士の一団が最近のあの死の恐怖のペストが猖獗^{しょうけつ}を極めたところに集まって十日の間にお話しなされたものでございます。

イ. 洋の東西を問わず、過去数世紀の間に世の人びとが実際に見たり、噂に聞いたりした出来事がどんなに輝かしいものであっても、インディアスで起きた事柄は例外なく、過去のそれらの出来事をひとつ残らず翳^{かげ}らせ、沈黙させ、忘却の彼方へ追いやって余りあると思えるほどのものであった。インディアスでの出来事の中には、無辜^{むこ}の人びとを殺害し、破滅へ追いやったり、いくつもの集落や地方や王国を見る影もなく破壊したりするような犯罪行為が数々あり、そのほかの出来事も例外なく、それらに劣らず、人を戦慄^{せんりつ}させるものであった。

ウ. ちょうど^{せいこうたんさい}聖降誕祭の日、ミサのために王が至福の使徒ペテロの前での祈りから立ち上がった時、[教皇]レオは彼の頭上に冠を載せ、そして[居ならぶ]すべてのローマ人達が賛同の歓呼をあげた。崇高なるカール、神によって冠されし偉大にして平和をもたらせるローマ人の皇帝に生命と勝利あれ！そして讚美歌のあと彼は、いにしへの皇帝たちの慣例に従って教皇から^{きざ}跪坐の礼を受け、続いてパトリキウスの称号を廃して、インペラトールにしてアウグストゥスと称された。

エ. 合衆国政府が熱望することは(中略)「利益範囲」を主張する諸国が、かかる「範囲」内で、あらゆる国々がそれぞれの通商と航行に関する完全に平等な扱いを受けることを公式に承認し、これから生じる疑問の余地のない利益が、中国におけるすべての国々の通商に関して保証されることであり、それゆえ合衆国政府は、ドイツ皇帝陛下の政府が下記のごとき公式の保証を与え、かつ他の関係諸国からも、それら各国が何らかの影響力を有する領域に関して、同様の保証を確保するために協力をなすならば、これを^{きんかい}欣快とするものである。

オ. 古い政府権力の中心地であると同時にフランスの労働者階級の社会的拠点でもあったパリは、帝政によって授けられたその古い政府権力を復興し永続化しようとするティエールや田舎紳士たちの企てに対して、武器を持って立ち上がったのである。パリが抵抗できたのは、ひとえに、包囲の結果軍隊を追い払い、大部分が労働者からなる国民軍にかえたからである。この事実は今や、一つの制度にされなければならなかった。したがって、コミューンが発した最初の政令は、常備軍を廃止して、それを武装した人民にかえることだった。

カ. すなわち、必要なことは、東方の地に住むあなた方の兄弟たち、すでにたびたび求めたにもかかわらずあなた方の援助を得られずにいる兄弟たちのもとへ、馳せ参じて助けることである。(中略)トルコ人はロマニアの国境地帯でキリスト教徒たちの土地をますます占領し、すでに七度に及ぶ戦いで敗れた側を征服し、多数のものを殺しあるいは捕らえ、教会を破壊しては神の王国を略奪した。(中略)ところで、その地に赴くすべての者には、たとえ旅の途上であるいは航海の途中で、または異教徒に対する戦いで、死に遮られて生涯を終えたとしても、即座に罪の赦免が与えられるだろう。

キ. したがって、特権を持たない構成員のみが、国民議会の選挙権及び被選挙権を持つのだ。第三身分の意思は市民全体にとって常に善である。特権身分が自らの個別利益を顧みることなく、単なる市民として、すなわち、ほかでもない第三身分として投票するのを望まないなら、特権身分の意思は常に悪である。したがって、第三身分だけで、およそ国民議会と言ったときに想起されるものを構成するには十分なのだ。

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、下線部(1～10)に関する設問(1～10)に答えなさい。

現在では中華人民共和国の特別行政区として位置づけられている香港は、香港島と九竜半島、その周辺の大小235の島から構成される。1997年に返還されるまで、香港は長期にわたってイギリスの直轄植民地であった。ただし、香港の植民地化は一気になされたものではない。それは、半世紀以上の時間をかけ、数次の段階をへて行われた。アヘン戦争を終結させるために結ばれた1842年の南京条約⁽¹⁾が、その第一段階となる。香港の人口は、1841年の時点では一万人にも達していない。南京条約において、香港島がイギリスに割譲されたことにより、この地域は、それ以降の中国近代史において対外的に重要な意味をもつ場所となっていく。その後、1850年代初めから十数年にわたって長江流域を中心にして展開された太平天国の乱⁽²⁾の際には、香港は避難民の流入先の一つであった。その時期に重なる1856年にイギリス・フランスは、アロー戦争をひきおこした。その終結に際して結ばれた1860年の北京条約⁽³⁾では、香港島対岸の九竜半島南部が新たにイギリスに割譲されることになった。これが第二段階である。イギリスは、さらに、日清戦争後の1898年に結んだ新界租借条約⁽⁴⁾によって、九竜半島基底部(新界)と香港島や九竜半島周辺の235の島を99年間租借することを実現する。これが第三段階であり、香港は全域的に植民地化されることになった。

19世紀半ばからの数十年間は、東南アジア方面に向けて数多くの中国人(華僑)⁽⁵⁾が出国した時期として知られる。華僑を送り出す主要な港の一つが香港であった。そのような華僑の中から、20世紀初めには、革命派の有力な支援者も現れた。中華民国の建国につながった1911年の辛亥革命⁽⁶⁾の成功は、彼らの援助にも支えられていた。中華民国は、第一次世界大戦の際には、連合国の一員として参戦している。戦勝国として臨んだ1919年のパリ講和会議において、中華民国代表は新界などの租借地の全面返還を要求したが、その要求は容れられなかった。1921年から1922年にかけて開催されたワシントン会議⁽⁷⁾の場でも、中華民国代表は同様の要求を提出した。それに対し、イギリス代表は新界の返還をあくまで拒絶した。

その後も、1937年の日中戦争の勃発や1946年の国共内戦の開始、1949年の中

華人民共和国の建国などのたびに、香港は本土からの避難民の受け入れ先となり、その人口をしだいに増大させていった(過酷な日本軍政期は、その例外である)。イギリスは、1950年1月には中華人民共和国政府をすでに承認していた。⁽⁸⁾しかし、両者の間で、香港返還の本格的な交渉が始まったのは、1982年になってからである。その頃には、香港はすでにシンガポールなどとともにアジア経済の新たな中心の一つに成長していた。⁽⁹⁾1984年に調印された中英共同声明をうけて、1997年7月1日に香港は中華人民共和国に返還された。⁽¹⁰⁾共同声明で合意された一国二制度方式においては、外交と国防を除いて、高度の自治権が、返還直前の制度の下で基本的に50年間保障される。すでに20年が経過した現在、これからの30年のゆくえが世界的に注目されている。

設問 1 南京条約で開港が認められた5港の中に含まれないものをひとつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A. 寧波 B. 漢口 C. 福州 D. 厦門

設問 2 太平天国に関する説明として正しいものをひとつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A. キリスト教の教義を中心としながらも、伝統的な偶像崇拜を受け入れることで、困窮する民衆の間に支持を広げた。
- B. 男女の平等を追求し、女性の纏足を悪習として禁じる一方で、支配地域では女性の労働力は活用されなかった。
- C. 参加者は、満州族伝統の髪型である辮髪を拒否することで、「滅満興漢」の意志を明らかにした。
- D. 太平天国の乱の鎮圧に貢献した曾国藩は、郷里の湖南省で募集した義勇兵を正規軍に編入し、湘軍を組織した。

設問 3 北京条約およびそれに先だって結ばれた天津条約の内容に合致していないものをひとつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A. 外国人宣教師によるキリスト教布教の公認
- B. 外国人の中国国内での旅行の公認
- C. 外国公使の北京での駐在許可
- D. アヘン貿易の非合法化についての合意

設問 4 この年にイギリスは清から他の地域も租借している。該当する地域名を選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A. 膠州湾
- B. 遼東半島
- C. 威海衛
- D. 広州湾

設問 5 以下の文は、イギリスがどのような経緯でマレー半島に進出したかを述べている。文中の下線部には誤りが含まれている可能性がある。誤っている箇所の数を選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

イギリスは、1826年、ベナン・マラッカ・シンガポールを一括して海峡植民地とした。その後、イギリスは、港市だけの支配から領域的な支配にのりだすようになり、錫鉱山の利権をめぐる中国人やマレー人スルタンの争いに介入して支配地域を広げ、1895年にはマレー連合州を成立させてマレー半島の支配を確立した。20世紀に入ると、インドから大量の移民を導入し、広大な未開地をゴムのプランテーションとしていった。

- A. 0箇所
- B. 1箇所
- C. 2箇所
- D. 3箇所
- E. 4箇所

設問 6 辛亥革命に関する説明として正しいものをひとつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A. 湖北省武昌に駐屯していた政府軍内の革命派の蜂起に始まった辛亥革命は、湖北省の独立宣言を筆頭に、その後の一か月の間に、大半の省の独立宣言へと展開した。
- B. 清朝を代表して革命派との交渉にあたった袁世凱は、中華民国臨時大総統の地位を孫文から譲られることで革命派と妥協し、その後、自ら帝位につくために、宣統帝に退位をせまった。
- C. 1905年に日本で結成された革命派の連合組織である中国同盟会は、三民主義の実現のために、満洲王朝の打倒、共和国の建設、土地の国有化を目標とした。
- D. 清朝がこの頃推進していた鉄道国有化事業は、台頭しつつあった民族資本家が政府に要望していた、外国からの利権回収の一環であった。

設問 7 ワシントン会議の主要な議題は、海軍軍縮問題とともにアジア(特に、中国)・太平洋問題であった。アジア・太平洋問題に関連して、会議の場で結ばれた条約の内容に合致していないものをひとつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A. 中国の主権尊重、領土保全、門戸開放、機会均等の約束
- B. 日本がドイツから継承した山東省の権益の返還
- C. 太平洋諸島に対する関係各国の権益の相互尊重
- D. ヴェルサイユ条約の早期批准の義務化

設問 8 中華人民共和国建国後の対外関係に関する説明として正しいものをひとつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A. 中華人民共和国は、建国後すぐに中華民国に代わり、国連安全保障理事会の常任理事国となった。
- B. 1972年のアメリカ大統領ニクソンの訪中は、国際的に大きな波紋を呼び、翌年の日中国交正常化につながった。
- C. ベトナム戦争への支援の方針をめぐる、1960年代初めに中国とソ連の関係は悪化し、外交政策の対立は公開論争にまで発展した。
- D. 1959年にドライ＝ラマがインドに亡命したことで、中印関係は緊張し、その後、国境付近での軍事衝突に発展した。

設問 9 シンガポールに関する説明として正しいものをひとつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A. 太平洋戦争期の日本占領下では、日本軍が親日派を組織して住民を分断したことにより、激しい反日感情は生まれなかった。
- B. シンガポールは、1963年にマラヤ連邦に加わった後、1965年に分離独立した。
- C. シンガポールは、東南アジアで唯一、華人が多数を占める国家である。
- D. シンガポール・香港・中国・韓国は、1970年代の経済発展によって、新興工業経済地域と呼ばれた。

設問10 香港返還に先だつ1990年代の初頭には、中国およびその周辺国の対外関係にさまざまな変化が生じていた。そのような変化に該当しないものをひとつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A. 中国・韓国間の国交樹立
- B. 韓国・ソ連間の国交樹立
- C. 韓国・北朝鮮の首脳会談
- D. 韓国・北朝鮮の国連同時加盟

〔IV〕 1580年に書かれたモスクワ会社(ロシア会社)の商人らに対する訓示書に、次のような一節がある。「どこか人口密度の高い島を発見し、現地の人々が衣類をほしがっていることがわかれば、彼らが衣類を手に入れるためにはどのような商品と引き換えればよいのかを教えてやるべきである。もし彼らが貧しければ、彼らが豊かになり、衣類を手に入れるために引換えに提供できるものをもてるにはどうすればよいか、その基盤と方法とを考えなければならない」(ブラック『経済開発の外交』)。

ここから当時の輸出市場開拓における技術援助の側面を汲み取ることもできるが、一方で商人らの行動はしばしば戦火を起こす根本的な原因ともなった。1600年代初頭には、オランダ(ネーデルラント)、イギリス、フランスの商人らは相次いで東インド会社を設立した。このうちオランダとイギリスの東インド会社について、両社の本国の政治体制および経済政策、アジアにおける主要な進出先とその貿易品、さらに解散の背景を比較し、200字以内で説明しなさい。

なお、解答は横書きとし、括弧や句読点は1マス1字に数え、算用数字を用いる場合には1マス2字とすること。国名は略記(例えば、イギリスを英や英国、オランダを蘭や蘭国)してよい。